

## ごあいさつ

この度父種村一磨の後任として理事長に就任いたしました池尻佑美と申します。

当院は創立64周年で祖父である種村等が開院しました。私は幼いころより当院の横に住み、祖父母、両親が働いてきたのを間近でみて育ちましたので、自分がその立場となったことをとても感慨深く感じ、身が引き締まる思いです。

私は平成14年広島大学病院麻酔科に入局し現在に至るまで、手術麻酔やペインクリニック診療・緩和医療に携わって参りました。平成23年医療法人社団曙会シムラ病院にて勤務を開始し、平成31年に副理事長、手術麻酔部長に就任して以来微力ながら救急医療、手術医療を中心とした病院運営管理に関わっております。



理事長 池尻佑美

当院はこれまで整形外科・外科分野において24時間365日絶えることのない医療のニーズに応えることを理念とし、広島の救急医療の一端を担ってまいりました。「断らない救急」を目指して当院一丸となって取り組んでいます。昨年度は手術室を新設し、今年度は新たに救急部門を発足しております。ますます患者様にご満足いただけるよう、広島の救急医療を支えるべく充実したものにしていきたいと思っております。

高齢化社会や地域医療・緩和医療の分野では特にwithコロナの時代も重なり、医療を取り巻く環境は変化してきていることを実感いたします。当院のもう一つの理念である全人的医療を貫くため、今年度当院では患者支援センターを立ち上げました。地域の医療機関や施設との協力体制をますます強固なものとしていただき、患者様の様々な状況に対応させていただきたいと思っております。

また、昨年3月に24時間看護師常駐の介護付き有料老人ホーム「ハピリス・シムラ」を開設し一年が経ちました。このニュースレターにご紹介させて頂いております。ご挨拶が遅れましたが当施設におきましても格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

昨年からは新しい仲間も増え、新しい施設もでき、当院は変化の時を迎えております。患者様や地域の医療機関・施設の皆様にも喜んでいただける「シムラ病院」にしていくべく努力していく所存です。若輩ではございますが、前理事長同様のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



会長 種村一磨

この度、曙会理事長を退任し、会長に就任致しました。永きに亘たり、絶大なる御支援、御指導を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

世界は異様な程に変化が急であります。我々医療人は、社会的基本インフラとしての重要な役割を果たしてゆかなければなりません。

その渦中で、使命感・高い志をもって継承してくれた、次世代が、困難にあっても節を曲げず、理想を掲げつつ融通無碍の対応で乗り切ってくれと祈るばかりです。

皆様の御指導、御鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



医療法人社団曙会

シムラ病院・ニュースレター

令和4年度 ( Vol.11 )

# 目次

- 表紙 : ごあいさつ 理事長 池尻佑美 会長 種村一磨
- 目次
- 新年度のごあいさつ : 院長 岩田尚士 (P.1)
- 就任・新任のごあいさつ
  - 副理事長 兼 回復期リハ病棟医長 澤 衣里子 (P.2)
  - 救急外来部長 池尻好聰、手術麻酔部長 中尾正和 (P.3)
  - 整形外科主任部長 澤 幹也、手術麻酔副部長 卜部智晶  
整形外科医 大林賢司 (P.4)
  - 外科医 平井裕也、整形外科医 伴卓郎、  
看護副部長 兼 患者支援センター長 家護谷五月 (P.5)
- 新手術室稼働から1年経過して (P.6-7)
- 患者支援センターのご案内 (P.8)
- 緩和ケア相談外来のご紹介、通所リハビリテーションのご紹介 (P.9)
- 漢方外来のご紹介 (P.10)
- 介護付有料老人ホーム「ハビリス・シムラ」のご紹介 (P.11)
- シムラ病院 シムっこ保育所のご紹介、病院の理念・知-が-ン等 (P.12)
- 外来診療予定表・専門外来診療一覧 (P.13)
- 交通のご案内 (P.14)





## ● 新年のごあいさつ

新年明けて早々から始まった新型コロナウイルス感染症の第6波は衰えを知らず、そのまま第7波に移行したように思われ、残念ながら新年度を明るい気持ちで迎えることは難しい状況です。令和3年度はどの医療機関も同様であったと思いますが、感染症対策に神経をすり減らし続けた1年間でした。当院では職員に数名の感染者を出したものの、幸い病棟への侵入は許さず、何とか乗り切ることが出来ました。

令和2年度の上半期は非常に厳しい経営状況が続きましたが、昨年4月に新棟が完成し、手術室や内視鏡室、会議室などを新設するとともに、併設の介護付き有料老人ホームを開設しました。



医療法人社団曙会 シムラ病院  
院長 岩田 尚士

診療スタッフも整形外科医、各1名を増員することで、戦力の強化を果たすことが出来、結果として一般急性期病棟が現在の48床となってからは最高の1,362台の救急車を受け入れ、手術件数も外傷、変性疾患、外科疾患を合わせ1,119件と過去最高を大幅に更新しました。病床利用率や平均在院日数などの数値や緩和ケア病棟、回復期リハビリ病棟の稼働も1年を通じて良好に維持出来ました。これらの数値を達成することが出来たのも、ご紹介や転院などに際して近隣の諸施設のご協力の賜物であり、深く感謝しております。

今年度はさらに整形外科医1名を増員があり、これまで以上にコロナ対策を徹底しながら広島市の救急医療を中心に、地域社会に貢献していく所存です。

どうか皆さま、今年度もご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



## ● 就任のごあいさつ

### 副理事長 兼 回復期リハビリテーション医長 澤 衣 里 子

令和3年12月から回復期リハビリテーション病棟医長、令和4年4月から副理事長に就任致しました、澤 衣里子と申します。

平成23年広島大学病院リハビリテーション科に入局後、急性期、回復期、生活期のリハビリテーション医療に携わってまいりました。若輩者ではございますが、責務を全うできるよう日々精進してまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



二次救急指定病院・病院群輪番制病院の機能と役割を担う当院は、一般急性期病棟、緩和ケア病棟、そして回復期リハビリテーション病棟（地域包括ケア病床含む）と、それぞれ専門性と特徴を持った病棟で構成されています。

私が病棟医長を務める回復期リハビリテーション病棟は、当院の柱の一つの「救急医療」を支える縁の下の力持ち的役割と、もう一つの柱である「全人的医療」、つまり患者さんの社会的背景も配慮し治療を行う役割があります。これからも地域の皆様が例え要介護状態となっても、住み慣れた環境で医療・介護・生活支援の提供を受けながら生活ができるよう支援させていただきます。

また当院は1人でも多くの救急患者さんを受け入れることができるよう各病棟で連携をとり運営を行っておりますが、2025年問題が間近に迫っている昨今、病病連携・病診連携の重要性を痛感しております。

今年度は「地域連携室」を「患者支援センター」に一新し、特に広島市・廿日市市・近隣の病院・診療所の諸先生方との連携を強化していきたいと考えております。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



リハビリ室から見える風景



新棟リハビリテーション室



## ● 就任のごあいさつ

### 副院長 兼 救急外来部長 池尻 好 聰

平素より大変お世話になります。この度改めて救急外来部長を拝命致しました池尻好聰と申します。当院の救急医療体制のさらなる発展に務める所存です。

昨年度の救急搬送数は 1,362 件でした（図）。麻酔科医や整形外科医の増員、新手術室の稼働、病床管理の強化による空床確保などにより、救急搬送数、手術件数、入院患者数が増加しました。一方、救急車の応需率は低下しました。コロナ禍での救急受け入れの難しさはありましたが、まだ当院の救急医療体制や救急医療文化には改善の余地があります。救急医療は当院の医療の柱です。職員一丸となって救急医療に取り組みます。

救急患者は広島市内や廿日市市などの多くの地域から搬送されてきます。患者は適切な医療を受けた後、再び地域の医療圏に戻ります。また近年高齢者の救急患者が増えています。高齢者は多くの医療的および社会的問題を抱えており、包括的なケアが求められます。かかりつけ医や施設の方々などその人をよく知る人達と連携し、継続的な入院治療と総合的な退院支援を行い、シームレスな医療や社会支援を行うことが重要だと考えています。

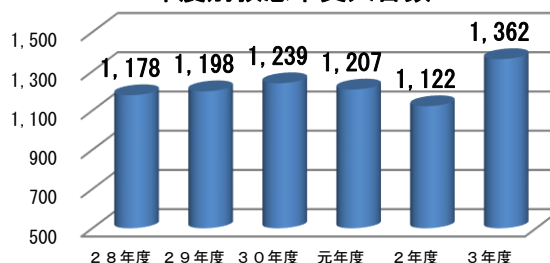
救急医療や高齢者医療に地域連携や病診連携は欠かせず、これらの医療を継続するための鍵になります。

シムラ病院は地域の医療機関、施設、行政などと連携し、救急医療に積極的に取り組んでまいります。引き続き皆様のご支援を賜りたいと存じます。今後も何卒よろしくお願い申し上げます。

（救急や地域連携に関して何かお困りなことがありましたら、池尻好聰までご連絡ください。）



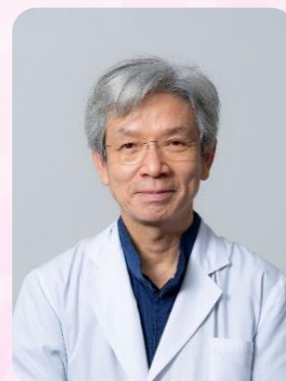
年度別救急車受入台数



### 手術麻酔部 部長 中 尾 正 和

COVID-19の影響でご報告が遅れましたが、2021年4月に広島総合病院での19年勤務を終えてシムラ病院に赴任しております。従来の1部屋1列+αでの麻酔科医1名体制から、2021年に手術室2室が新設移転され、池尻佑美、卜部医師と麻酔科専門医3名体制となりました。2020年秋から麻酔科学会認定施設に、2021年度からは広島大学麻酔科関連病院となっております。

医師陣、手術室・病棟ナース、リハビリ、薬剤部とチームづくりを進めています。患者さんやご家族はもとより、第三者からもみても当院が質のたかい医療を提供していると判断してもらえよう、一層がんばって参りたいと思います。よろしくお願い致します。



## ● 就任・新任のごあいさつ

### 整形外科主任部長

澤 幹 也

2021年4月よりシムラ病院整形外科に勤務しております澤 幹也と申します。

私は2009年3月に広島大学を卒業し、2011年4月に広島大学整形外科に入局させていただきました。中国労災病院および広島市民病院にて初期・後期研修を実施致しました。2014年より広島大学大学院に進学し、股関節班・足外科班に所属し大学院卒業後は広島県立障害者リハビリテーション病院、中電病院にて主に股関節診療に携わって参りました。



シムラ病院は主に1次、2次救急医療を担っており、急性期病床・回復期病床を最大限稼働させながら地域医療に貢献することを心がけております。近隣の先生方より外傷症例をご紹介いただく機会も増え、2021年度は一般外傷手術を中心に約1100件の手術を実施しております。引き続き地域の先生方との連携を密にし、患者さんの機能回復に微力ながら貢献できればと考えておりますのでご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

### 手術麻酔部 副部長 ト部 智 晶

2022年4月より日本麻酔科学会認定指導医になりましたト部 智晶（うらべ ともあき）と申します。私の実家は福山市ですが、2010年に大学を卒業してから北海道で初期臨床研修を通過し、2013年に再び広島の地に戻って参りました。

当院の手術麻酔部は整形・外科手術を中心に実施しており、全身麻酔管理は年間1000件を超えております。また、術後の痛みを緩和するために積極的に神経ブロックを併用しており、患者様の満足度も高くなっております。

外科医、麻酔科医、看護師等一丸になって、今後も地域の医療の一端を担っていることを誇りに邁進して参ります。



### 整形外科医 大 林 賢 司

2021年度より福岡大学医学部整形外科学教室よりシムラ病院へ赴任しております、大林 賢司（おおばやし けんじ）と申します。

現在、後期研修医として日々勉強をさせていただいております。広島県に来て早1年になりますが、とても人柄と住み心地が良く、のびのびと仕事に邁進しております。

目の前の症例に対し真剣に向き合い、微力ながら広島県の地域医療に貢献できたらと考えております。

何かと未熟でお手数をおかけすることと存じますが、皆様のご指導を仰いで精一杯努力する所存でございます。今後とも宜しくお願い致します。



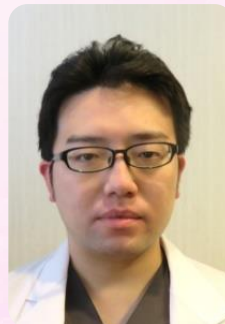
## ● 就任・新任のごあいさ

### 外科医 平井裕也

初めまして。シムラ病院 外科の 平井裕也 と申します。  
平成 27 年広島大学医学部卒業後、初期臨床研修を JA 広島総合病院で  
行い、広島大学病院原爆放射線医科学研究所腫瘍外科に入局致しました。

外科医として広島大学、安佐市民病院、呉医療センター中国がんセン  
ターで経験を積み、2021 年からシムラ病院で勤務をさせていただくこ  
ととなりました。

緩和ケアを含め、地域の医療に少しでも貢献出来るように努力していきたいと思っ  
ております。何卒よろしくお願いいたします。



### 整形外科医 伴卓郎

4 月より赴任してまいりました整形外科の伴です。

福岡県で生まれ育ち、前年度は福岡県飯塚市の病院に勤務してありま  
した。広島県での生活は初めてですが交通の便も良く、グルメや観光名  
所も多数あり非常に住みやすいという印象を受けております。

まだ勤務して間もないですが、シムラ病院での外来患者様の数、手術件  
数を見るとここ中区を中心に広島市内において大変ニーズのある病院と  
感じております。

まだまだ医師として未熟ではございますがそれに対し患者様に満足のいく医療を提供で  
きるよう尽力して参ります。皆様どうぞよろしく御願い致します。



### 看護副部長 兼 患者支援センター長 家護谷 五月

広島大学病院で36年勤務し、うち18年間看護師長・主任看護師長  
として看護管理を担ってきました。

歴史あるシムラ病院の理念に基づき、加藤看護部長のもと看護部の目標  
達成に少しでも寄与できればと思っております。また、新しく設置された  
患者支援センターのセンター長として、院内はもとより、地域の医療機関

・施設との連携強化に努めたいと思っております。“患者さんのために”をモットーに総合  
相談にも力を入れていきたいと思っております。 なにとぞよろしくお願いいたします。





## ● 新手術室稼働から 1 年経過して

### 手術麻醉部

中尾正和（部長） 河野幸美（師長）

手術室を南側新棟の 2 階に新設し 2021/2 から稼働して 1 年になります。

旧手術室も術前術後の病棟と同じフロアでしたが、従来よりも広い手術室 2 部屋（バイオクリーンルーム仕様）で、手術器械の準備展開ができる部屋を別途に設け、整形外科の手術には必須の放射線撮影イメージ装置、内視鏡カメラシステムなど多くの医療機器を使っても余裕をもって対応できる大きさになりました。



手術で使用した器械は洗浄室、その後、組立滅菌室、滅菌物の管理は保管室、手術器械の準備は展開室と流れが交差することなく、一方通行となりました。

洗浄機、オートクレーブは新機種となりステリース滅菌機を新たに導入しました。快適な環境でストレスなく、手術を行っています。

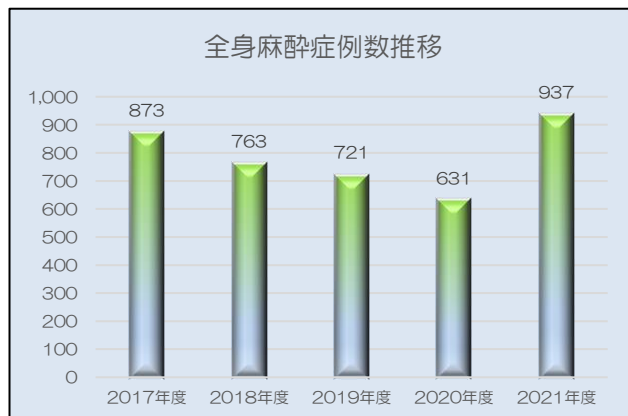
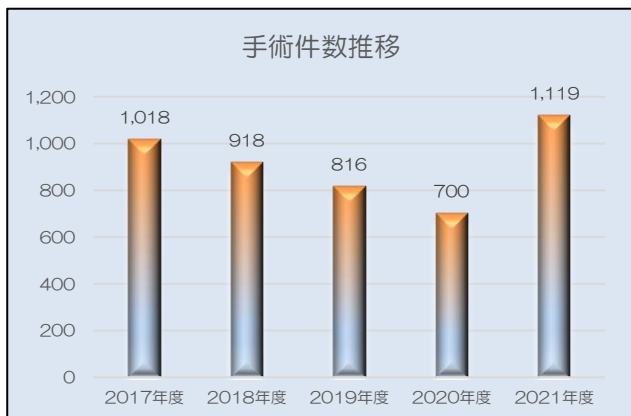


スタッフとして、外科 3 名、整形外科 6 名（2022 年 4 月からさらに 1 名増員）、手術室看護師 7 名（2022 年 4 月にさらに 1 名増員）、臨床工学士 1 名と看護助手 3 名です。麻醉科医は旧手術室では 1 名によって運営されていましたが、池尻佑美医師に交代し、2021 年 1 月からト部智晶医師、4 月からは中尾正和医師も加わり、専門医 3 名体制になりました。高齢な患者さんも多く、循環器内科医による術前評価が得られるようになっていきます。

これらで、ようやく、午前 9 時から 2 つの手術室を有効に利用する体制が始まりました。



過去の当院での手術件数を図に示します。2020（令和2）年度は COVID-19 の影響で減少しましたが、2021 年度にはついに年間 1000 例をこえ、2022 年度も同じペースが持続しています。



かつて、緊急手術といえば虫垂炎、腸閉塞など外科手術が主で、10 年前までは骨折の手術は、他の予定を考慮して、空いた日時まで先延ばしというのは当たり前で、そのほうが手術室の運営も簡単でした。しかし手術待ちで臥床安静にしているうちに、深部静脈血栓症、誤嚥性肺炎、廃用萎縮による術後リハビリ困難という悪循環に陥る問題が近年明らかになってきました。今や、外傷も準緊急扱いで、予定手術を考慮しながら、骨折などの手術もできるだけ早期にという時代です。数年前から当院でもできるだけ、早期に手術ができる体制を病院あげて構築してきました。とくに大腿骨近位部骨折は重点的にすすめていましたが、2022 年 4 月に受傷後 48 時間以内手術で保険診療上加算が始まり、これまでの我々の努力が認められた形となりました。

これからも、患者さんにとって適切な医療がタイミング良く受けられるように、各部署と連携して努力、改善して参りたいと思います。





## ● 患者支援センターのご案内

2022年4月シムラ病院は、従来あった「地域連携室」の機能強化を図り、患者サービスの向上を目的として新たに「患者支援センター」と名称を変えました。センター長を新たに設置し、ソーシャルワーカーも増員し各フロアに常駐して、細やかな対応ができるようになりました。総合相談も充実した対応が可能となります。

### □ 紹介患者の受付

緩和ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟への転院のご相談、入院患者の紹介を承っております。担当のソーシャルワーカーまでいつでもご連絡ください。

緊急 及び 一般病棟	* 受付を通して担当医師へご連絡ください
回復期リハビリテーション病棟	岡 (MSW)
緩和ケア病棟	橋本 (MSW)

### □ 総合相談案内

療養生活や退院後のことなど、何かお困りのことはありませんか？

社会福祉士の資格を有した、各病棟専任の医療ソーシャルワーカー（医療相談員、MSWともいいます）と認定心理士の資格を有した看護師が様々な相談に応じます。予約が必要な場合もありますが、お気軽にご相談ください。

平日：8:30~17:30 土曜日：8:30~12:30

連絡先：TEL 082-294-5151（代表） FAX:082-294-5152

TEL 082-231-6720（医療ソーシャルワーカー直通）

E-mail: shien@shimura.or.jp





## ● 緩和ケア相談外来のご紹介

当院では「がんと診断された時からの緩和ケア」を実現するため今まで行ってきた緩和ケア病棟への入院面談とは別に2020年4月より緩和ケア相談外来を開院いたしました。

具体的にはがん治療中の苦痛症状（痛み・吐き気・倦怠感など）に対応すること、専門的知識をもつ医師、薬剤師、看護師や社会福祉士らとともに患者様やご家族の不安に対応すること、アドバンスケア・プランニング（患者様・ご家族・医療者での人生会議）などを行っています。

「緩和ケア」とはいわゆるがん終末期の医療、がん治療ができなくなった方への医療というイメージをお持ちの方が多いのが現状です。「がんと診断された時から緩和ケア」が始められることで、よりご自分らしく生きていただくためのお手伝いできればと思っております。

いつでもどなたでも受けていただける緩和ケアを目指して月～金曜日の毎日、池尻佑美（日本麻酔科学会専門医・指導医、日本緩和医療学会認定医、日本ペインクリニック学会専門医）を中心とした医師が担当し、毎日ご予約できるようになっております。終末期の患者様に対する緩和ケアは勿論ですが、がん治療を行われている病院や在宅療養を行われている地域の診療所の先生方、施設の皆様との連携を緊密に行わせていただき、がん治療に向かわれていらっしゃる患者様のサポーター的役割も当院で果たしていけたらと考えております。

該当する患者様、または該当するか悩ましい患者様がいらっしゃいましたらご紹介・ご相談賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

お問合せ；池尻佑美（理事長）

## ● 通所リハビリテーションのご紹介

シムラ病院では、要介護（要支援）者の自立支援・重度化防止を目的とし、介護保険でご利用頂ける通所リハビリを行っています。シムラ病院の通所リハビリには理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護福祉士が在籍し、リハビリ専門職による個別リハビリの他、集団体操、マシントレーニング、物理療法等を個々の身体機能に応じて提供しています。また、言語聴覚士による、話す、聞く、飲み込む（嚥下）リハビリを行っている事も特徴です。

90分という短時間のプログラムとなりますので、ご自分の時間を有効に使いながら体力の向上や動作能力の改善を図りたい方、長時間のサービスを利用する事が難しい方に適していると思っております。

また、退院後や医療でのリハビリ終了後、生活に不安が残る方にもご利用頂いております。ご利用者様が住み慣れた地域でイキイキとした生活を送れるよう努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

お問合せ；堀 智博（リハビリテーション科主任）





## ● 漢方外来のご紹介

水曜日の午後に漢方外来を担当しております小川恵子と申します。

私は、漢方専門医になる前は、小児外科医として臨床に従事していたのですが、患者さんの術後のいろいろな症状に漢方薬が大変有効であったのをきっかけに、漢方の勉強を始めました。手術や治療はたいへん順調なのに、リハビリがなかなか進まなかったり、食欲がない、疲れやすいなど、元の病気とは一見無関係な症状などで患者さんも主治医も困ってしまうこともあります。このような西洋医学的治療の結果と患者さんの自覚症状とのギャップを埋めていくことも漢方の大きな役割だと思っています。



その他、西洋医学的治療を受けても改善しない症状、西洋医学的には診断がつかないような症状、または、西洋医学的治療は効果的なのに治療の副作用でお困りの症状などに対しても、漢方を試してみてもいいのではないでしょうか。

漢方外来では、脈診・舌診・腹診など漢方医学の伝統的な診断方法に基づいた、一人一人の患者さんに最も適した伝統的な漢方薬による治療を行っております。この伝統的な漢方薬としては、エキス剤（煎じ薬をフリーズドライして粉末にしたもの）を主に使用します。

私の外来には、乳児から高齢者まで老若男女を問わず受診されています。主な疾患は、腰痛や関節痛などの整形外科疾患、加齢に伴う筋力低下や疲れやすさ（フレイル）、冷え症や月経異常など婦人科疾患、がん治療に伴う副作用の軽減・防止、手術後の不調や体力低下の改善、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎や気管支喘息のような体質的疾患、慢性肝炎や高血圧・糖尿病などの長期管理の必要な疾患、自律神経失調症などの心身の疾患、などがあげられます。漢方治療では、単に症状を抑えるのではなく、からだ全体のバランスを整えます。また、副作用が起きないように細心の配慮をしています。

### 【漢方が適している病気】

- ✓ 原因がよくわからない体の不調や体力低下
- ✓ 加齢にともなう種々な症状
- ✓ 冷え症、月経不順など
- ✓ 慢性腎炎、慢性肝炎、高血圧、糖尿病など長期管理の必要な病気
- ✓ がんやその治療に伴う症状の軽減・防止
- ✓ 心身症、不定愁訴、神経症など
- ✓ アレルギー疾患（アレルギー性鼻炎、気管支喘息など）



### 小川恵子 先生

日本東洋医学会漢医・指導医 日本外科学会専門医 日本小児外科学会専門医  
広島大学病院 漢方診療センター長 総合内科・総合診療科 特任教授





## 介護付有料老人ホーム ハビリス・シムラ のご紹介

「ハビリス・シムラ」は令和3年3月に「医療法人社団曙会 シムラ病院」隣地に開設した介護付有料老人ホームです。「ハビリス (Habilis)」とは「適した、ふさわしい」の意味を持つラテン語で、「リハビリテーション (Rehabilitation)」の語源になっている言葉です。

私たちは障害や疾病を抱える入居者様が「適した、ふさわしい」生活を送り、より良く生きられるよう支援することを理念とし、令和4年6月末時点で延べ64名の入居者様をお受け入れしました。今年度も病院隣接であるメリットを最大限生かした施設運営を行うことで、地域の皆様・医療機関の皆様のお役にたてるよう、職員一同精進してまいります。

引き続き宜しく願い申し上げます。 施設長 澤 衣里子

### ご入居までの流れ

- 1 お問い合わせ** ☎082-503-5707 担当:徳弘 とくひろ
- 2 ご見学** 現在お困りのこと、入居されてからの生活について、ゆっくりお伺いさせていただきます。
- 3 入居申込** 入居をご希望の場合は、「入居予約申込書」にご記入ください。
- 4 面談** 必要書類が揃い次第、専門職員が入居者の心身の状況やご要望等をお伺いします。  
→入居判定
- 5 ご契約** 入居後の生活について、ご説明いたします。
- 6 ご入居** スタッフ一同、心よりお待ちしております。

### 「ハビリス・シムラ」の特徴



#### シムラ病院併設

併設するシムラ病院が協力医療機関として医療面をサポートします。



#### 24時間看護師常駐

介護士はもちろん、看護師も24時間365日常駐。夜間でも必要な医療対応を行うことができます。



#### 在宅診療・往診

医師による在宅診療（訪問診療・往診）をご自身の居室で受けることができます。



#### ターミナルケア・看取り対応

入居者様・ご家族に寄り添うターミナルケアを提供致します。



ご入居者様募集中 (全室個室/定員50名)  
お気軽にご相談ください。

介護付有料老人ホーム **ハビリス・シムラ**  
《お問合せ先》TEL 082-503-5707  
〒730-0841 広島市中区舟入町3番9号

【施設概要】 ■施設名称/介護付有料老人ホームハビリス・シムラ ■所在地/広島県広島市中区舟入町3番9号 ■類型/介護付有料老人ホーム ■介護保険/特定施設入居者生活介護 ■敷地面積634.75㎡ ■延床面積5388.64㎡ ■居室総数/50室 (全室個室/定員50名) ■構造・規模/鉄骨造地上8階建て 耐火建築物 ■居室設備/エアコン、洗浄機付トイレ、車椅子対応洗面台、ナースコール、システム家具、照明器具、介護用ベッド ■共用設備/エントランス、食堂・機能訓練室、談話室、事務室、洗濯室、共用トイレ、脱衣室、一般浴室、機械浴室 ■居住の権利形態/利用権方式 ■利用料の支払方式/月払方式 ■入居一時金/0円 ■利用料月額 (家賃、管理費、食費) 210,000円～ 260,000円 ※介護保険サービス費、医療費、自費サービス、紙おむつ代などは含まれていません ■入居時の要件/原則65歳以上の方、要支援、要介護認定を受けている方 ■入居時期: 2021年 (令和3年) 3月1日～ ■介護に係る職員体制3:1 (要介護者3名に対し、常勤換算1名以上の職員体制※週40時間換算) ■土地建物の権利形態/事業主体所有 ■事業主/シムラ商事株式会社



## ● シムラ病院 シムっこ保育所のご紹介

「企業主導型保育事業」の制度を活用して、令和3年3月から念願の保育所がオープンし、1年が経過しました。

ご利用者様も順調に増えてきており、定員12名に対して、令和4年5月時点で9名ご利用頂いています。

運営については株式会社アイグランに業務委託を行っており、充実した教育プログラムなどにより、元気な声が絶えない明るい場所となっています。



ご利用につきましては、職員や地域の方、共同利用の企業様に対応しており、ご要望がございましたら、ぜひお問合せ下さい。

担当窓口：吉岡直也（総務課主任） TEL：082-292-8481

FAX：082-295-7225

E-mail：yoshioka@shimura.or.jp

## ● 病院の理念、スローガン、基本方針、患者さんの権利

### 【病院の理念】

医療の原点は「いつでも」「どこでも」「だれでも」が適切な医療を受けられることである。救急医療が医療の原点といわれる由縁である。

シムラ病院は、1日24時間、1年365日絶えることのない医療のニーズに応え、救急医療を通して社会に貢献することを目的とし、更に最後まで全人的医療を貫く。

### 【スローガン】

- シムラ病院職員は、患者様を肉親と思って診（看）みましょう。
- シムラ病院職員は、患者様には笑顔で接しましょう。

### 【基本方針】

- 安心できる医療の提供
- 安全な医療の提供
- 清潔（快適）な医療環境の提供

【患者さんの権利】患者様には、次の権利があります。

- 個人として尊重される権利
- 良質で適切な医療を平等に受ける権利
- セカンドオピニオンを受ける権利
- 十分な説明を受け、理解のもと、自身の選択に基づいた医療を受ける権利
- 患者様のプライバシーが保護される権利
- 患者様の診療に関する情報提供を受ける権利

シムラ病院は、上記の患者様の権利を尊重します。



## ● 外来診療予定表

診療科		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
整形外科	午前	吉岡・大林 (10:00~) 作田(広大整形)	池尻 澤	吉岡 池尻 浅野	村田(10:00~) 伴 石川(広大整形)	大林 伴 冲本	産業医大
	午後	池尻 林(広大整形)	村田 浅野 伴	吉岡 浅野	村田(14:30~) 澤 生田(広大整形)	澤 大林 冲本	広大整形 or 広大救急
外科 消化器科	午前	岩田	笹田(広島大学腫瘍外科) (12:00まで)	平井 岸	岩田	平井	岸
	午後	随時対応	随時対応	随時対応	岸	坪川 (広大外科) (14:00~17:00)	広大整形 or 広大救急
内科	午前	福原(消化器) 泉(広大循環器)	森田 (広大循環器)	福原 (消化器)	竹内 (広大循環器)	武田 (広大循環器)	福原 (消化器)
	午後	福原 (消化器)	随時対応 (外科対応)	福原 (消化器)	随時対応 (外科対応)	随時対応 (外科対応: 広大外科)	広大整形 or 広大救急

◎ 診療時間は、適宜変更される場合がございますので、ご了承ください。

## 整形外科専門外来診察一覧表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	人工関節 専門外来 吉岡	肩痛外来 池尻	肩痛外来 池尻	脊椎専門外来 村田	骨粗鬆症外来 冲本	—
午後	肩痛外来 池尻 スポーツ外来 池尻※1	脊椎専門外来 村田	人工関節 専門外来 吉岡	脊椎専門外来 村田	骨粗鬆症外来 冲本	

※1: スポーツ外来は完全予約制です

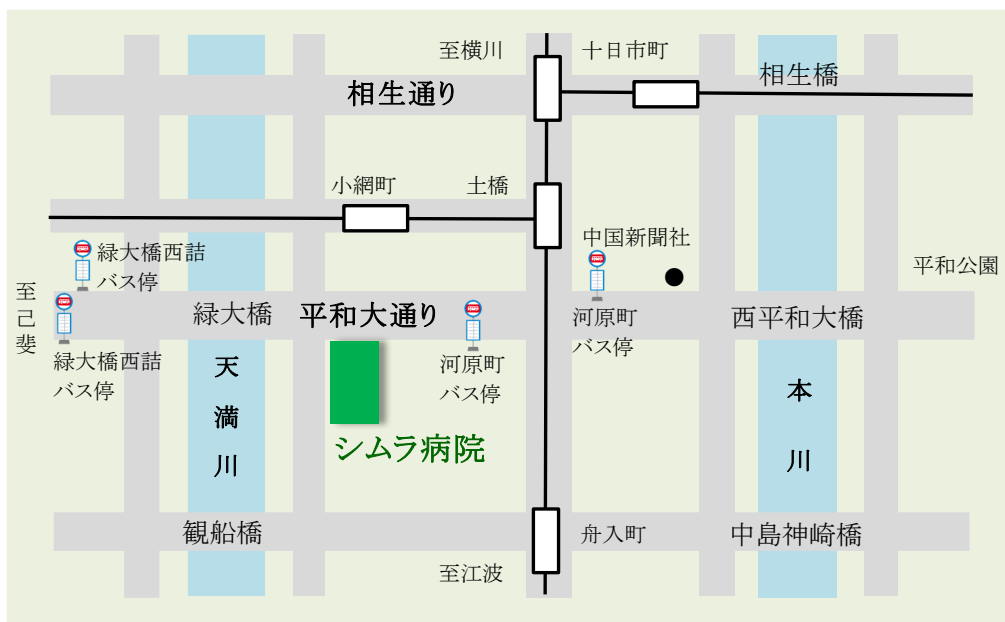
## 緩和ケア相談外来・外科専門外来診察一覧表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	緩和ケア 相談外来 岸	乳腺外来 笹田 (広島大学腫瘍外科)	—	—	—	—
午後	緩和ケア 相談外来 池尻(佑)	緩和ケア 相談外来 池尻(佑)・岸	緩和ケア 相談外来 池尻(佑)	NST外来 岸 緩和ケア相談外来 池尻(佑)	緩和ケア 相談外来 平井	—

【診療時間】 9:00 ~ 12:30、14:00 ~ 18:00 (水曜日14:30 ~ 18:00)

(診療時間は、適宜変更される場合がございますので、ご了承ください。)

● 交通のご案内



広島電鉄で  


- (江波線) 「舟入町」下車 西へ徒歩5分
- (宮島線)(西広島線)「小網町」下車 南へ徒歩5分
- (江波線)(宮島線)「土橋駅」下車 南へ徒歩5分

バスで  


- 広島バス 25号線(草津線)「河原町」下車 西へ徒歩2分
- 広島バス 25号線(草津線)「緑大橋西詰」下車 東へ徒歩2分

タクシーで  


- JR 広島駅から 約20分
- JR 横川駅から 約10分
- JR 西広島駅から 約12分
- 広島港(宇品)から 約15分

自家用車で



お車でお越しの際は契約駐車場ありますので、「シムラ病院 第一・第二・第三」の駐車場をご利用ください。



医療法人社団曙会 シムラ病院

二次救急指定病院 / 労災保険指定病院 / 病院群輪番制病院 / 日本医療機能評価機構認定病院

〒730-0841 広島市中区舟入町3番13号  
 電話 082 (294) 5151 (代) FAX 082 (294) 5152  
 ホームページ <http://www.shimura.or.jp>

ホームページ QRコード



こちらにかざしてご覧いただけます

- 診療時間 平日 午前/9:00~12:30  
 午後/14:00~18:00 (水曜14:30~)
- 土曜 午前/9:00~12:30  
 午後/休日体制
- 休診日 日曜・祝日 (急患は随時受け付けます)

診療科目：外科・整形外科・内科・消化器外科・循環器内科・消化器内科  
 肛門外科・乳腺外科・放射線科・麻酔科・リハビリテーション科  
 緩和ケア科・精神科